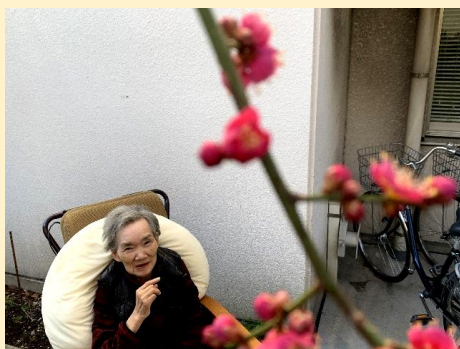


# 2021年2月の おおもりのトピックス



## 2月の特別養護老人ホーム



梅に名をえし大森の2月は、特別養護老人ホームも高齢者在宅サービスセンターも梅一色となりました。



感染症予防のため豆まきと大森名物、大暴れの鬼ではなく、静かな個別ケアの節分となりました。でも楽しさは変わらないひとときでした。



## お花クラブ



## 映画鑑賞会





2月の高齢者在宅サービスセンター



小グループで、「池上梅園」「梅屋敷公園」の梅を観賞しました。寒さの中にも春の訪れを感じます。

**2月の地域包括支援センター 地域応援プロジェクト第2弾!**

卒業式に合わせて大森西の5つの小学校や地域の皆さんと暖かいメッセージで桜を満開に。現在民生委員さんと準備を進めています。

地域応援プロジェクト2021年春～桜～

# げんきになる木でつながろう

～ひとと繋っちゃうじゃない! みんなつながっているよ～

1枚の桜の花びらに思いを込めて!

民生委員・児童委員 キャラクター ミニッ

3月 公開予定

昨年秋、コロナ禍の中でも「みんなつながっている」ことを感じて欲しい! そして「げんき」になって欲しい! と始動したプロジェクトの続編になります。今回は「地域」「未来」「子ども達」をテーマに力を合わせて「桜」を創ります!

共催 大森西地区 民生委員・児童委員協議会 大田区地域包括支援センター平和島・大田区地域包括支援センター大森

**梅屋敷の由来**

梅屋敷は、山本忠左衛門が和歌中(道中の常備薬)売薬所を開いた敷地三千坪に、その子久三郎が文政の頃(一八一八～一八二九)に、梅の木百本をはじめとしてかきつばたなどの花々を植え、東海道の休み茶屋を開いたことに始まるといわれています。当時は後の十二代将軍徳川家慶が鷹狩りの休み所とした程の屋敷で、その雅趣ある風情は多くの文人、行楽客、東海道の旅人を集め、とくに梅の開花期には非常ににぎわいを見せたようでした。

大田区